

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 10 月 8 日 (2009.10.8)

【公開番号】特開 2008-106083 (P2008-106083A)

【公開日】平成 20 年 5 月 8 日 (2008.5.8)

【年通号数】公開・登録公報 2008-018

【出願番号】特願 2006-287214 (P2006-287214)

【国際特許分類】

C 0 8 G 73/10 (2006.01)

H 0 1 L 21/312 (2006.01)

G 0 3 F 7/037 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 73/10

H 0 1 L 21/312 B

H 0 1 L 21/312 D

G 0 3 F 7/037

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 8 月 25 日 (2009.8.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

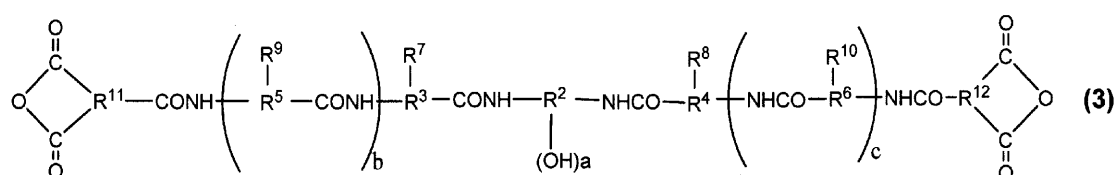
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

下記一般式 (3) で表されるテトラカルボン酸二無水物と、ジアミン化合物を反応させて得られる樹脂を含有することを特徴とする耐熱樹脂前駆体組成物。

【化 2】



(一般式 (3) 中、 $R^3 \sim R^6$ は同じでも異なってもよく、芳香族環または芳香族縮合環を含む炭素数 6 ～ 30 の有機基を示す。 $R^7 \sim R^{10}$ は同じでも異なってもよく、 $-H$ 、 $-F$ 、 $-OH$ 、 $-NHR^{15}$ 、 $-NHCO R^{16}$ 、 $-N=CHR^{17}$ 、炭素数 1 ～ 20 のアルキル基および炭素数 1 ～ 10 のフルオロアルキル基からなる群より選ばれる 1 価の基を示す。 R^{11} および R^{12} は芳香族環または芳香族縮合環を含む炭素数 6 ～ 30 の有機基を示す。 a は 1 または 2、 b および c は 0 または 1 である。 R^{15} は水素または炭素数 1 ～ 20 の 1 価の有機基を示し、 R^{16} および R^{17} は炭素数 1 ～ 20 の 1 価の有機基を示す。)

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

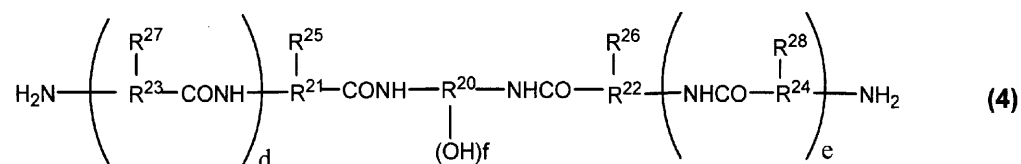
【補正の内容】

【請求項 3】

下記一般式 (4) で表されるジアミン化合物と、テトラカルボン酸二無水物、ジカルボン

酸またはそのジエステル化物とを反応させて得られる樹脂を含有することを特徴とする耐熱樹脂前駆体組成物。

【化 3】



(一般式(4)中、 R^{20} は芳香族環または芳香族縮合環を含む炭素数6～30の有機基を示す。 $\text{R}^{21} \sim \text{R}^{24}$ は同じでも異なってもよく、芳香族環または芳香族縮合環を含む炭素数6～30の有機基を示す。 $\text{R}^{25} \sim \text{R}^{28}$ は同じでも異なってもよく、 $-\text{H}$ 、 $-\text{F}$ 、 $-\text{OH}$ 、 $-\text{NHR}^{29}$ 、 $-\text{NHCO}\text{R}^{30}$ 、 $-\text{N}=\text{CHR}^{31}$ 、炭素数1～20のアルキル基および炭素数1～10のフルオロアルキル基からなる群より選ばれる1価の基を示す。 d および e は0または1、 f は1または2である。ただし、 d が0のとき R^{25} は、 e が0のとき R^{26} はそれぞれ $-\text{NHR}^{29}$ 、 $-\text{NHCO}\text{R}^{30}$ 、 $-\text{N}=\text{CHR}^{31}$ からなる群より選ばれる基を示す。 R^{29} は水素または炭素数1～20の1価の有機基を示し、 R^{30} および R^{31} は炭素数1～20の1価の有機基を示す。)

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

前記ジアミン化合物が下記構造より選ばれる少なくとも1つで表されることを特徴とする請求項3記載の耐熱樹脂前駆体組成物。

【化 4】

